

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

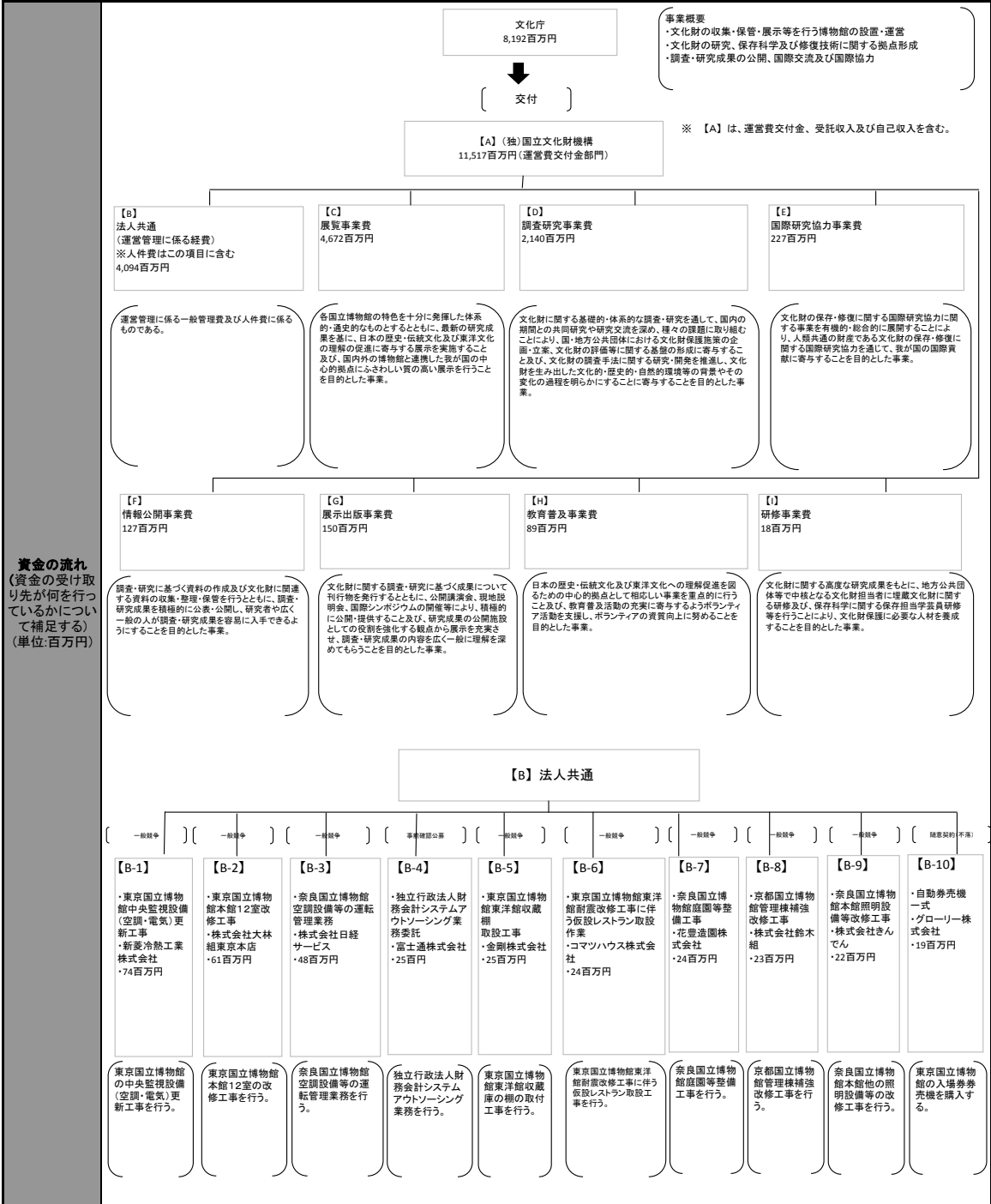
Main table containing project details, budget, and performance metrics. Includes sections for '事業名', '会計区分', '事業の目的', '実施方法', '予算額・執行額', '成果指標', and '成果目録及び成果実績'. It features a detailed budget table and a performance table with columns for '20年度', '21年度', '22年度', and '23年度'.

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	<p>【調査研究事業】</p> <p>○収蔵品の次代への継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集・保管に関する研究を実施し、有形文化財の保存に寄与する。 ・前置対策を計画的かつ適切に実施し、保存・活用のための環境整備を図る。 ・修理・保存処理を要する収蔵品等について、緊急性の高い収蔵品から順次、計画的に修理する。 <p>○我が国の博物館活動全体の活性化に寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品については、その保存状況を勘案しつつ、公立の博物館等に対し、展示等の充実等に寄与するための貸与を推進する。 ・公立博物館等に対する援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的ネットワークの形成等に努める。 ○文化財情報・研究成果などを広く公表することを通じて歴史・伝統文化に対する理解が深まるよう努める。 ・収蔵品等に関する調査研究の成果を広く発信する。 ・ウェブサイト等自主媒体の活用及びマスメディアとの連携強化等により、広く国内外に情報を発信する。 ・収蔵品等の文化財その他関連する資料の情報について、永く後世に記録を残すために、デジタル化を推進し、文化財情報システム等により広く積極的に公開する。 	<p>【保存・修理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品の温湿度管理、防虫対策、耐震対策、作品輸送時の振動調査など、文化財の適切な管理に必要な対策を継続的に実施した。 ・収蔵品の応急修理に積極的に取り組み、劣化の予防に努め、緊急性の高いものから本格修理を実施した。 <p>【収蔵品の貸与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の博物館等との要請に応じて、その展示等の充実等に寄与するため、収蔵品の保存状態を勘案しつつ貸与を実施した。 【公立博物館・美術館への指導助言】 ・公立の博物館・美術館等の要請に応じて、展覧会及び運営、作品の展示・保存・修理等の援助・助言を行い、文化財の公開・保護等の水準向上に努めた。 【文化財情報のデジタル化】 ・収蔵品の文化財とその関連情報について、永く後世に残すためデジタル化を推進し、収蔵品の国宝・重要文化財高精細画像公開システム「国宝」をはじめとして、ウェブサイトで広く公開を行った。 	<p>【国際協力】</p> <p>文化財研究所が、アジア諸国等における文化財の保存・修復協力、技術移転・専門家養成等の支援等を実施した。</p> <p>【国際協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究所が、アジア諸国等における文化財の保存・修復協力、技術移転・専門家養成等の支援等を実施した。 【主な文化財の保護・保存・修復に関する協力】 ・カンボジアでアンコール遺跡群の調査を実施。 ・アフガニスタンのバミヤン遺跡保存修復事業を実施。 ・中国の敦煌壁画の保護に関する共同研究を実施。 【主な人材育成に関する協力】 ・アフガニスタン・イラクの文化財専門家研修を実施。 ・エジプト・巨大エジプト博物館保存修復センタープロジェクトへの協力を実施。 	<p>本格修理目標数 (73件)</p>
	<p>【国際研究協力事業】</p> <p>○文化財の保存・修復を通じた我が国の国際貢献への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際共同研究を通じて保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤整備を行う。 ・継続的な国際協力のネットワークを構築し、アジア諸国において文化財の保存・修復事業を推進する。 ・諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転を積極的に進める。 ・アジア諸国の文化財保護担当者や保存・修復専門家などの人材養成に関する支援事業を国内外で実施する。 	<p>【国際協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究所が、アジア諸国等における文化財の保存・修復協力、技術移転・専門家養成等の支援等を実施した。 【主な文化財の保護・保存・修復に関する協力】 ・カンボジアでアンコール遺跡群の調査を実施。 ・アフガニスタンのバミヤン遺跡保存修復事業を実施。 ・中国の敦煌壁画の保護に関する共同研究を実施。 【主な人材育成に関する協力】 ・アフガニスタン・イラクの文化財専門家研修を実施。 ・エジプト・巨大エジプト博物館保存修復センタープロジェクトへの協力を実施。 	<p>— ()</p>	<p>— ()</p>
	<p>【情報公開事業】</p> <p>○情報発信機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報基盤の整備・充実を図り、文化財情報の計画的収集・整理・保管及びその電子化の推進による文化財に関する専門的アーカイブの拡充を行うとともに、調査研究に基づく成果としてのデータベースの充実を図る。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を刊行する。 ・公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に公開・提供する。 ・研究所の研究・業務等を広報するためホームページの充実を図る。 	<p>【情報発信機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報基盤の整備・充実を図り、文化財情報の計画的収集・整理・保管及びその電子化の推進による文化財に関する専門的アーカイブの拡充を行うとともに、調査研究に基づく成果としてのデータベースの充実を図る。 ・文化財に関する調査・研究に基づく成果について、定期的な刊行物を発行するとともに、公開講演会、現地説明会、国際シンポジウムの開催等により、積極的に成果の公開・提供を行った。 ・また、研究所の研究・業務等を広報するため、ウェブサイト・携帯サイト・デジタルイメージギャラリーの新設・メールマガジンの配信等ホームページの充実により、ホームページアクセスの増加を図った。 	<p>— ()</p>	<p>— ()</p>
	<p>【展示出版事業】</p> <p>○調査研究成果の適時適切な公表により社会に還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡資料館等について、研究成果の公開施設として展示を充実させ、調査・研究成果の内容を広く一般に理解を深めてもらうことに資する。 ・文化財が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業に協力し、支援を実施する。 ・「平城遷都1300年記念事業」にあわせ、平城京についてのこれまでの調査・研究成果を生かした展示・公開事業を行う。 	<p>【展示出版事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡資料館、飛鳥資料館・藤原宮跡資料館等の展示公開施設において、調査研究の成果・発掘調査の成果などを速やかに公開し、広く一般への理解を深めることを行った。 ・飛鳥資料館において「千古古墳壁画」の特別展示を、平成20～23年度の各年に実施した。 ・平城遷都1300年事業に合わせて、平成21年度に平城宮跡資料館リニューアルし、常設展示の大規模な展示替えを行った。 	<p>— ()</p>	<p>研究成果公開施設目標未達成数 (138,500人)</p>
	<p>【教育普及事業】</p> <p>○歴史・伝統文化の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等と連携協力しながら、講演会、ギャラリートーク等の学習機会を提供する。 ・教育普及活動の充実等に寄与するようボランティア活動を支援し、ボランティアの資質向上に努める。 ・企業との連携や友の会活動の活性化等により博物館支援者の増加を図る。 	<p>【教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各博物館において、文化財について分かりやすく理解するための、講演会・列品解説・ギャラリートーク・講座等を多数開催した。 ・学校との連携事業として、小・中・高等学校対象のスクールプログラムを実施し、キャンパスメンバーズの募集に力入り、文字等との連携事業も実施した。 ・各施設においてボランティア活動の支援を行い、ボランティアの外国語による展示案内、由宇・手話による案内、ガイドツアーやワークショップの開催など、多様な活動を行った。 ・友の会、バスポート及び賛助会の会員確保に努め、地域や企業との連携事業を推進した。 	<p>— ()</p>	<p>講演会等参加者目標数 (163回、14,948人)</p>
<p>【研修事業】</p> <p>○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体や大学、研究機関との連携・協力体制を構築し、文化財に関する協力・助言を行う。 ・埋蔵文化財に関する研修及び保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施する。 ・大学との間で連携大学院教育を実施し、若手研究者の育成に寄与する。 	<p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究所が、地方公共団体等の要請に応じて、文化財の修復及び整備に関する調査・助言、地方公共団体等が行う発掘調査への援助・助言など、文化財に関する専門的・技術的な協力・助言を多数実施した。 ・文化財に関する高度な研究成果をもとに地方公共団体等で中核となる文化財担当者に埋蔵文化財に関する研修・保存科学に関する保存担当学芸員研修を実施した。 ・東京芸術大学等の大学との間で連携大学院教育を実施し、若手研究者の育成に寄与した。 	<p>— ()</p>	<p>埋蔵文化財担当者研修目標 (13課程、160人)</p> <p>保存担当学芸員研修目標 (2週間、25名程度)</p>	

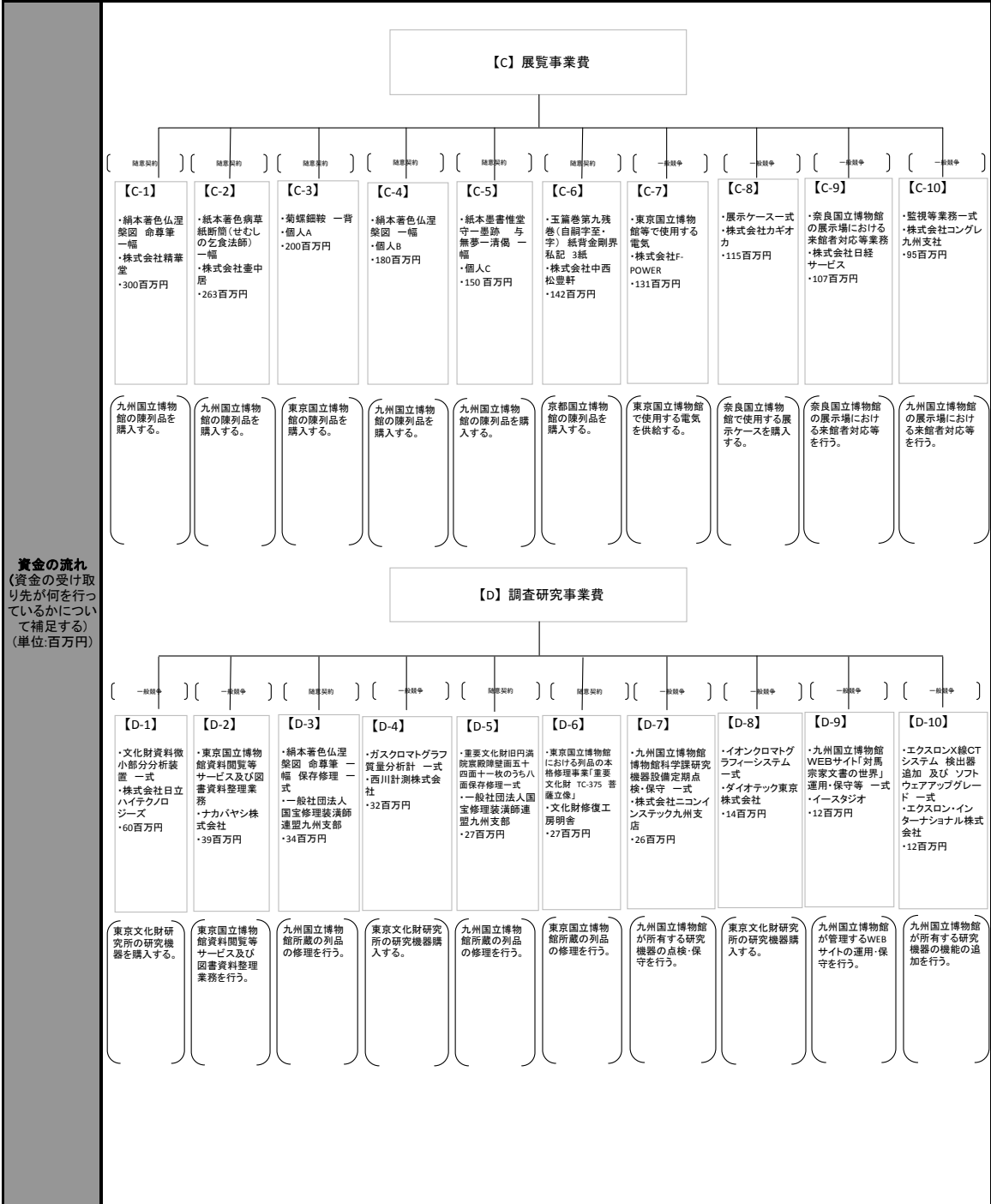
単位当たりコスト	—	—	算出根拠	—
----------	---	---	------	---

費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由	
独立行政法人国立文化財機構運営費交付金	7,941	7,712	業務の効率化による減	
計	7,941	7,712		

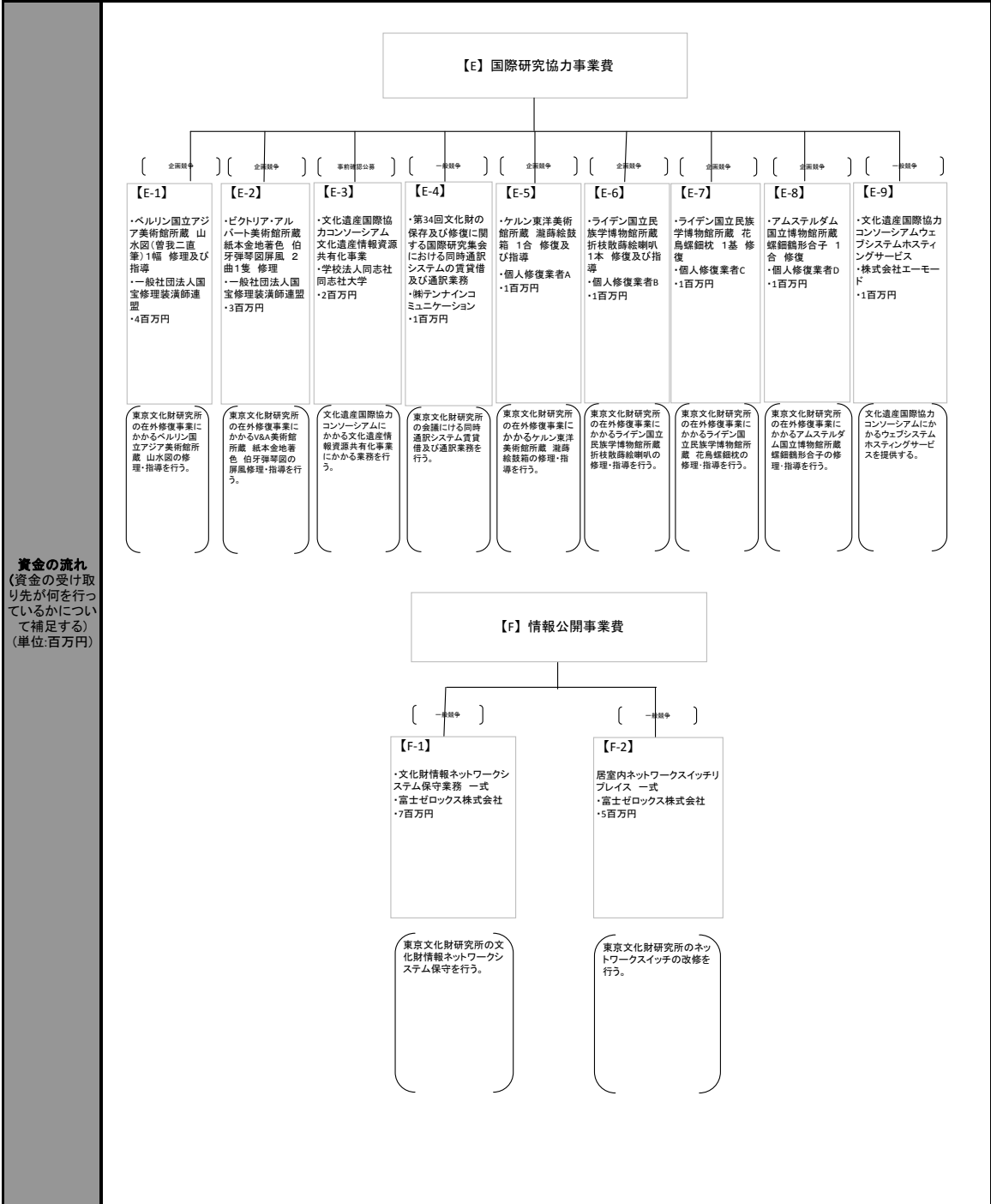
事業所管部局による点検			
評価	項目		特記事項
算目的状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
資金の流れ、費	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
点検結果	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>○事業の目的に沿った事業運営がなされている。特に展覧事業については、一般来館者を対象としたアンケート調査、専門家からの批評聴取等を定期的に実施するなど、国民のニーズや市場動向を把握しつつ運営している。引き続き国民のニーズ等の状況を継続的に見極めながら事業を展開することが望まれる。また、文化財に関する調査・研究も、基礎的なものから先端的・実証的なものまで幅広く実施されており、我が国の文化財保護に大きく貢献していると認められ、調査・研究の継続と更なる発展が望まれる。</p> <p>○運営費交付金による事業であり、これまで業務運営の効率化を進め、国費の縮減に努めてきたところである。監事及び外部有識者からなる契約監視委員会により、法人が契約する個々の契約について、その契約の妥当性について審議を行い、諸事概要をホームページで公表するなど、透明性・競争性の確保に努めており、適切な対応がなされている。引き続き業務運営の効率化を進め、国費の縮減に努めるべきである。</p> <p>○展覧事業をはじめとする各事業は、第2期中期目標期間の最終年度として、中期目標を達成するための中期計画に沿って事業が展開され、全体として目標達成に向けた積極的な活動が行われた。平成23年度からの第3期中期目標期間においては、特に、平常展を展覧事業の中核と位置付け、一層の充実を図るとともに、良質な展示・企画の充実等により、自己収入の更なる拡大を図る必要がある。</p>		
<p>予算監視・効率化チームの所見</p>			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点、この事業は、独立行政法人に対する運営費交付金の交付事業であり、事業の効率化の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見、これまで業務運営の効率化に努めてきたところであるが、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(H22.12.開議決定)等を踏まえ、自己収入の拡大、国の負担を増やさない形で事業の充実を図るべきである。</p> <p>なお、競争参加条件等より一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p>「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(H22.12.開議決定)等を踏まえ、寄附金や賛助会員等への加入者の増加、募金箱の設置、映画等のロケーションのための建物等の貸与や会議・セミナーのための会議室の貸与等により、継続して自己収入拡大のための取組みを実施している。また、一般競争入札等による競争性の確保を促進し、仕様書の改善、適切な公告期間の確保、公告方法の拡大等により、入札への新規参入を促すなど、自己収入の拡大及びコスト縮減で、概算要求に▲269百万円反映した。</p>			
<p>補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)



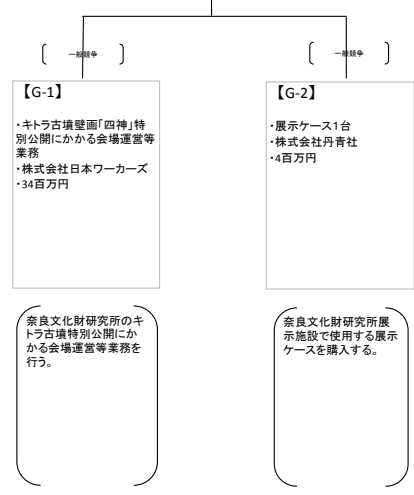
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



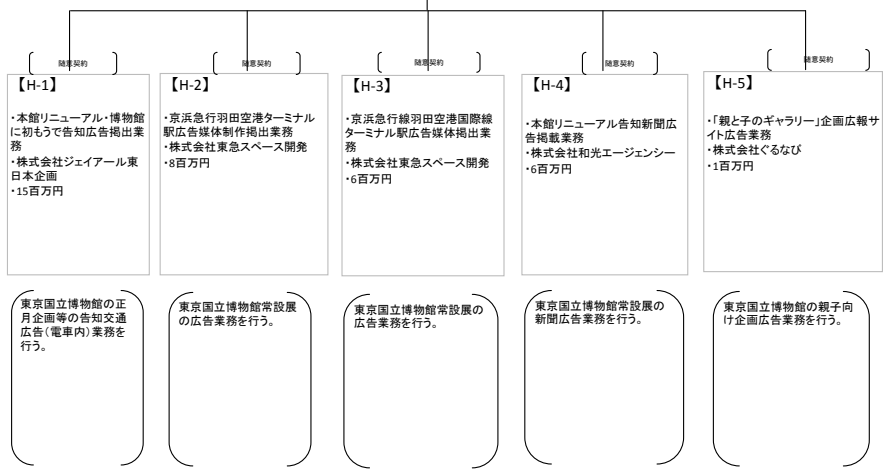
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

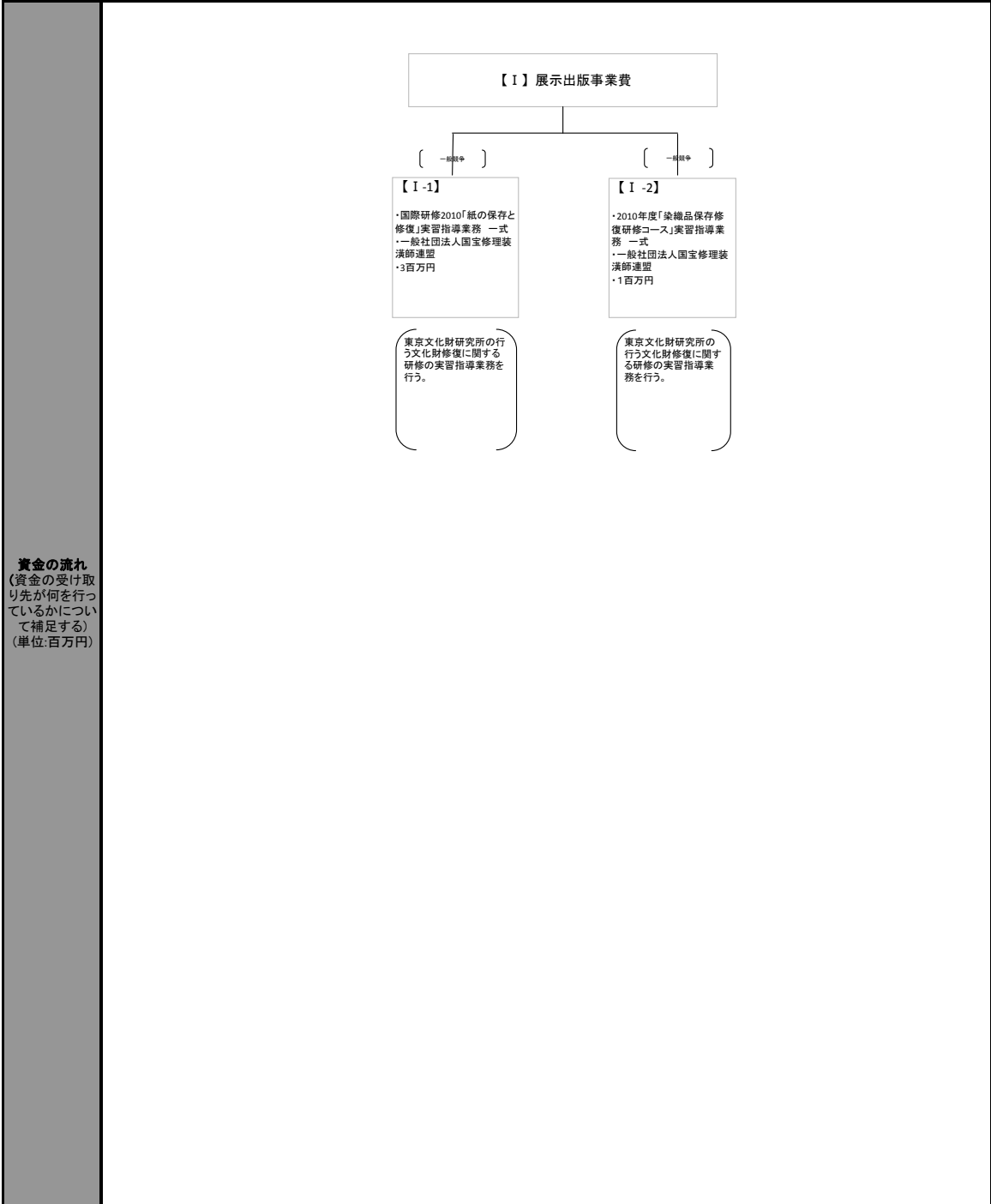
資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

【G】 展示出版事業費



【H】 教育普及事業費





資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

A.(独)国立文化財機構			E.国際研究協力事業費		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	陳列品購入等(内訳はC. 以下参照)	7,423	事業費(物件費)	在外の日本文化財修復、国際会議開催等	227
事業費(人件費)	業務人件費	2,372			
一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	932			
一般管理費(人件費)	管理人件費	790			
計		11,517	計		227
B.法人共通			F.情報公開事業費		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(人件費)	業務人件費	2,372	事業費(物件費)	ネットワーク機器保守等	127
一般管理費(物件費)	施設管理、賃貸借等	932			
一般管理費(人件費)	管理人件費	790			
計		4,094	計		127
C.展覧事業費			G.展示出版事業費		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	陳列品購入、光熱費、展示場警備等	4,672	事業費(物件費)	研究公開施設の維持等	150
計		4,672	計		150
D.調査研究事業費			H.教育普及事業費		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	調査研究機器、文化財修理等	2,140	事業費(物件費)	普及・広報の印刷物等	89
計		2,140	計		89
I.研修事業費					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	埋蔵文化財担当者研修等実施経費	18			
計		18	計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

B-1.新菱冷熱工業株式会社			B-6.コマツハウス株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	東京国立博物館中央監視設備(空調・電気)更新工事	74	役務	東京国立博物館東洋館耐震改修工事に伴う仮設レストラン取設作業	24
計		74	計		24
B-2.株式会社大林組東京本店			B-7.花豊造園株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	東京国立博物館本館12室改修工事	61	工事	奈良国立博物館庭園等整備工事	24
計		61	計		24
B-3.株式会社日経サービス			B-8.株式会社鈴木組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	奈良国立博物館空調設備等の運転管理業務	48	工事	京都国立博物館管理棟補強改修工事	23
計		48	計		23
B-4.富士通株式会社			B-9.株式会社きんでん		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	独立行政法人財務会計システムアウトソーシング業務委託	25	工事	奈良国立博物館本館照明設備等改修工事	22
計		25	計		22
B-5.金剛株式会社			B-10.グローリー株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	東京国立博物館東洋館収蔵棚取設工事	25	物品調達	自動券売機	19
計		25	計		19

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の
 双方で実情が分かるように記
 載)

C-1.株式会社精華堂			C-6.株式会社中西松豊軒		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	絹本着色仏涅槃図 命尊筆 一幅	300	物品調達	玉篇卷第九残卷(自嗣字至・字) 紙背金剛界私記 3紙	142
計		300	計		142
C-2.株式会社壺中居			C-7.株式会社F-Power		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	紙本着色病草紙断簡(せむしの乞食法師) 一幅	263	物品調達	東京国立博物館等で使用する電気	131
計		263	計		131
C-3.個人A			C-8.株式会社カギオカ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	菊蝶細鞍 一背	200	物品調達	展示ケース一式	115
計		200	計		115
C-4.個人B			C-9.株式会社日経サービス		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	絹本着色仏涅槃図 一幅	180	役務	奈良国立博物館の展示場における来館者対応等業務	107
計		180	計		107
C-5.個人C			C-10.株式会社コングレ九州支社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	紙本墨書惟堂守-墨跡 与無夢-清偶 一幅	150	役務	監視等業務一式	95
計		150	計		95

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

D-1.株式会社日立ハイテクノロジーズ			D-6.文化財修復工房明舎		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	文化財資料微小部分分析装置 一式	60	役務	東京国立博物館における列品の本格修理事業「重要文化財 TC-375 菩薩立像」	27
計		60	計		27
D-2.ナカバヤシ株式会社			D-7.株式会社ニコンインステック九州支店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	東京国立博物館資料閲覧等サービス及び図書資料整理業務	39	役務	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守 一式	26
計		39	計		26
D-3.一般社団法人国宝修理装演師連盟九州支部			D-8.ダイオテック東京株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	絹本着色仏涅槃図 命尊筆 一幅 保存修理一式	34	物品調達	イオンクロマトグラフィシステム 一式	14
計		34	計		14
D-4.西川計測株式会社			D-9.イースタジオ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	ガスクロマトグラフ質量分析計 一式	32	役務	九州国立博物館WEBサイト「対馬宗家文書の世界」運用・保守等 一式	12
計		32	計		12
D-5.一般社団法人国宝修理装演師連盟九州支部			D-10.エクスロン・インターナショナル株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	重要文化財旧円満院宸殿障壁画五十四面十一枚のうち八面保存修理一式	27	物品調達	エクスロンX線CTシステム 検出器追加 及び ソフトウェアアップグレード 一式	12
計		27	計		12

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

E-1.一般社団法人国宝修理装演師連盟			E-6.個人修復業者B		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ベルリン国立アジア美術館所蔵 山水図(曾我二直筆)1幅 修理及び指導	4	役務	ライデン国立民族学博物館所蔵 折枝散莚絵喇叭本 修復及び指導	1
計		4	計		1
E-2.一般社団法人国宝修理装演師連盟			E-7.個人修復業者C		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ピクトリア・アルバート美術館所蔵 紙本金地著色 伯牙弹琴图屏風 2曲1隻 修理	3	役務	ライデン国立民族学博物館所蔵 花鳥螺鈿枕 1基 修復	1
計		3	計		1
E-3.学校法人同志社 同志社大学			E-8.個人修復業者D		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	文化遺産国際協力コンソーシアム 文化遺産情報資源共有化事業	2	役務	アムステルダム国立博物館所蔵 蝶細鶴形合子 1合 修復	1
計		2	計		1
E-4.株式会社テンナインコミュニケーション			E-9.株式会社エーモード		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	第34回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会における同時通訳システムの買貸借及び通訳業務	1	役務	文化遺産国際協力コンソーシアムウェブシステムホスティングサービス	1
計		1	計		1
E-5.個人修復業者A					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ケルン東洋美術館所蔵 瀧蒔絵鼓箱 1合 修復及び指導	1			
計		1	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	F-1.富士ゼロックス株式会社			F-2.富士ゼロックス株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	文化財情報ネットワークシステム保守業務一式	7	物品調達	居室内ネットワークスイッチリプレイス一式	5
	計		7	計		5
費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	G-1.株式会社日本ワークス			G-2.株式会社丹青社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	キトラ古墳壁画「四神」特別公開にかかる会場運営等業務	34	物品調達	展示ケース1台	4
	計		34	計		4
費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	H-1.株式会社ジェイアール東日本企画			H-4.株式会社和光エージェンシー		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	本館リニューアル・博物館に初もうで告知広告掲出業務	15	役務	本館リニューアル告知新聞広告掲載業務	6
	計		15	計		6
	H-2.株式会社東急スペース開発			H-5.株式会社ぐるなび		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	京浜急行羽田空港ターミナル駅広告媒体制作掲出業務	8	役務	「親子のギャラリー」企画広報サイト広告業務	1
	計		8	計		1
	H-3.株式会社東急スペース開発					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	京浜急行線羽田空港国際線ターミナル駅広告媒体掲出業務	6				
計		6	計		0	
費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	I-1.一般社団法人国宝修理装演師連盟			I-2.一般社団法人国宝修理装演師連盟		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	国際研修2010「紙の保存と修復」実習指導業務一式	3	役務	2010年度「染織品保存修復研修コース」実習指導業務一式	1
	計		3	計		1

支出先上位10者リスト

B.法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新菱冷熱工業株式会社	東京国立博物館中央監視設備(空調・電気)更新工事を行う。	74	3	-
2	株式会社大林組東京本店	東京国立博物館本館12室改修工事を行う。	61	2	-
3	株式会社日経サービス	奈良国立博物館空調設備等の運転管理業務他を行う。	48	3	-
4	富士通株式会社	独立行政法人財務会計システムアウトソーシング業務を行う。	25	随意契約 (事前確認公募)	-
5	金剛株式会社	東京国立博物館東洋館収蔵棚取設工事を行う。	25	3	-
6	コマツハウス株式会社	東京国立博物館東洋館耐震改修に伴う仮設レストラン取設工事を行う。	24	5	-
7	花豊造園株式会社	奈良国立博物館庭園等整備工事を行う。	24	2	-
8	株式会社鈴木組	京都国立博物館管理棟補強改修工事を行う。	23	2	-
9	株式会社きんでん	奈良国立博物館本館照明設備等改修工事を行う。	22	2	-
10	グローリー株式会社	自動券売機を購入する。	19	随意契約 (不落随契)	-

C.展覧事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社精華堂	陳列品「絹本着色仏涅槃図 命尊筆 一幅」を購入する。	300	随意契約	-
2	株式会社壺中居	陳列品「紙本着色病草紙断簡(せむしの乞食法師) 一幅」を購入する。	263	随意契約	-
3	個人A	陳列品「菊蝶鈿鞍 1背」を購入する。	200	随意契約	-
4	個人B	陳列品「絹本着色仏涅槃図 一幅」を購入する。	180	随意契約	-
5	個人C	陳列品「紙本墨書惟堂守一墨跡 与無夢一清偈 一幅」を購入する。	150	随意契約	-
6	株式会社中西松豊軒	陳列品「玉篇巻第九残巻(自嗣字至・字) 紙背金剛私記 3紙」を購入する。	142	随意契約	-
7	株式会社F-Power	東京国立博物館等で使用する電気を供給する。	131	6	-
8	株式会社 カギオカ	奈良国立博物館で使用する展示ケースを購入する。	115	2	-
9	株式会社日経サービス	奈良国立博物館の展示場における来館者対応等業務を行う。	107	2	-
10	株式会社コングレ九州支社	九州国立博物館の監視等業務を行う。	95	1	-

D.調査研究事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日立ハイテクノロジーズ	文化財資料微小部分分析装置を購入する。	60	1	-
2	ナカバヤシ株式会社	東京国立博物館資料閲覧等サービス及び図書資料整理業務を行う。	39	2	-
3	一般社団法人 国宝修理装演師連盟関東支部	陳列品「絹本着色仏涅槃図 命尊筆 一幅」の保存修理を行う。	34	随意契約	-
4	西川計測株式会社	ガスクロマトグラフ質量分析計を購入する。	32	3	-
5	一般社団法人 国宝修理装演師連盟関東支部	陳列品「重要文化財 旧円満院宸殿障壁画 54面11枚のうち8面」の保存修理を行う。	27	随意契約	-
6	文化財修復工房明舎	陳列品「重要文化財 TC-375 菩薩立像」の本格修理を行う。	27	随意契約	-
7	株式会社ニコンインステック九州支店	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守を行う。	26	1	-
8	ダイオテック東京株式会社	イオンクロマトグラフィシステムを購入する。	14	1	-
9	イースタジオ	九州国立博物館WEBサイト「対馬宗家文書の世界」運用・保守等を行う。	12	1	-
10	エクスロン・インターナショナル株式会社	エクスロンX線CTシステム 検出器追加 及び ソフトウェアアップグレードを行う。	12	1	-

E国際研究協力事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 国宝修理装 演師連盟関東支部	ベルリン国立アジア美術館所蔵「山水図(曾我二直筆)1幅」の修理及び指導を行う。	4	随意契約 (企画競争)	-
2	一般社団法人 国宝修理装 演師連盟関東支部	ビクトリア・アルバート美術館所蔵「紙本金地著色 伯牙弹琴図屏風 2曲1隻」修理及 び指導を行う。	3	随意契約 (企画競争)	-
3	学校法人同志社 同志社大 学	文化遺産国際協カコンソーシアム 文化遺産情報資源共有化事業にかかる業務を行 う。	2	随意契約 (事前確認公募)	-
4	株式会社テンナイン・コミュニ ケーション	第34回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会における同時通訳システムの賃 借及び通訳業務を行う。	1	4	-
5	個人D	ケルン東洋美術館所蔵「瀧蒔絵鼓箱 1合」の修復及び指導を行う。	1	随意契約 (企画競争)	-
6	個人E	ライデン国立民族学博物館所蔵「折枝散蒔絵喇叭 1本」の修復及び指導を行う。	1	随意契約 (企画競争)	-
7	個人F	ライデン国立民族学博物館所蔵「花鳥螺鈿枕 1基」の修復及び指導を行う。	1	随意契約 (企画競争)	-
8	個人G	アムステルダム国立博物館所蔵「螺鈿鶴形合子 1合」の修復及び指導を行う。	1	随意契約 (企画競争)	-
9	株式会社エーモード	文化遺産国際協カコンソーシアムウェブシステムホスティングサービスを提供する。	1	1	-
10					-

F.情報公開事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス株式会社	文化財情報ネットワークシステム保守業務を行う。	7	2	-
2	富士ゼロックス株式会社	居室内ネットワークスイッチリプレイス業務を行う。	5	3	-

G.展示出版事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本ワーカーズ	キトラ古墳壁画「四神」特別公開に係る会場運営等業務を行う。	34	2	-
2	株式会社丹青社	奈良文化財研究所公開展示施設で使用する展示ケース1台	4	2	-

H.教育普及事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ジェイアール東日本 企画	本館リニューアル・博物館に初もうで告知広告掲出業務	15	随意契約	-
2	株式会社東急スペース開発	京浜急行羽田空港ターミナル駅広告媒体制作掲出業務	8	随意契約	-
3	株式会社東急スペース開発	京浜急行線羽田空港国際線ターミナル駅広告媒体掲出業務	6	随意契約	-
4	株式会社和光エージェンシー	本館リニューアル告知新聞広告掲載業務	6	随意契約	-
5	株式会社ぐるなび	「親と子のギャラリー」企画広報サイト広告業務	1	随意契約	-

I.研修事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 国宝修理装 演師連盟関東支部	国際研修2010「紙の保存と修復」実習指導業務 一式	3	1	-
2	一般社団法人 国宝修理装 演師連盟関東支部	2010年度「染織品保存修復研修コース」実習指導業務 一式	1	1	-

※落札率については、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表とする。